

# 家庭学習（うちガク）の目的

## 1 学習の習慣化

学力を向上させるためには、低学年のうちから家庭でも学習に取り組む習慣を身に付けることが大切です。この習慣は、中学校進学後も自ら学ぶ力として生きてきます。見通しをもって計画的に、有効に時間を使える児童になるよう、支援していきましょう。

## 2 自分で学ぼうとする意欲の育成

学校で学んだ子どもたちは、「できた」「楽しかった」という思いをもちます。家庭学習に取り組むことで、そういう「学ぶ喜び」がより深まり、次の学びの意欲へとつながります。また、「もっと速く正確にできるようになりたい」「もっと調べてみたい」といった意欲も家庭学習で高まることが期待できます。

## 3 学習したことの定着・習熟

計算や漢字などの基本的な学習内容を確実に身に付けるためには、繰り返し練習することが大切です。一度にたくさんの内容を長時間やるよりも、少しずつでも毎日継続して取り組むほうが、物事は定着しやすいですし、無理なくできます。

# 学習時間の目安

**学年 × 10 + 10分**

**3年生なら 3×10+10=40分**

上の時間を目安に、自分に合った時間を決めるとよいでしょう。また、学年が進むにつれ、何分やるか、いつやるか、何をやるかなどを子ども自身が計画し実行、振り返りができるようになると良いでしょう。

# 学習する内容

- 宿題は必ず取り組ませましょう。
- 宿題以外で自分に合った課題を見つけ、家庭学習ノートに取り組んだり、自分に合った教材を活用したりして自ら学習を進めることができるように支援していきましょう。
- 自ら課題を設定して学習留するときには、次のような例が考えられます。

基礎的・基本的な内容の例	発展的な内容の例
<ul style="list-style-type: none"><li>・漢字を読んだり書いたりすること～漢字練習</li><li>・文字を正しく、きれいに書くこと～お手本を見て書く</li><li>・国語の教科書の文章をすらすらと読むこと～音読</li><li>・言葉の意味調べ</li><li>・算数の問題を解くこと～計算ドリル練習</li><li>・テスト問題にもう一度取り組み、自分の間違いに気付くこと</li><li>・その日学習した内容をもう一度ノートにやってみること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・主語述語、修飾の関係を理解し文を書くこと ～作文、日記</li><li>・算数の答えの求め方を、図や言葉を使って説明すること</li><li>・理科や社会で学習したことを、いろいろな方法で深く調べて、分かりやすくまとめること</li><li>・小説やエッセイを読むこと</li></ul>

- 基礎的・基本的な内容は、各学年間でつながりがありますので、それぞれの学年の内容をしっかりと身に付けることがとても大切です。

## 学習環境づくり

- 生活の中に家庭学習に取り組む時間を位置付け、計画通り実行できるように支援していきましょう。
- 学習する場所（机など）を片付け、学習に集中できる環境を整えましょう。
- 漫画やゲーム類を近くに置かず、テレビを消しましょう。

### ☆学習を見守るおうちの方へ

- ①子どもの「やる気」が出るような励ましをしてあげてください。
- ②子どもが取り組んだことを見たり、聞いたりしてあげてください。
- ③低学年は○付けをしてあげてください。
- ④3年生以上は子ども自身で○付けをする習慣を付けてあげてください。自分で間違いに気付き、その理由を考え理解しようとする姿勢は、学力を伸ばす重要なポイントです。



とまこまい学びの3か条も参考にしてください。